

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2010
平成22年

9.15

目次

「しみんの広場」 広報サポーターカメラリポート 地域の話 市民活動を応援するページ	2
スクールリポート 学校生活の一コマを紹介	6
たはらしティニュース	7
おしらせ	8
連載コーナー	10

さあ収穫しよう
大きな秋の実り！





しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターカメラリポート…………… 2ページ
- 投稿(成章高校吹奏楽部 教職員美術サークル展)… 3ページ
- 地域の話(中山校区)…………… 4ページ
- 市民活動を応援するページ…………… 5ページ

広報サポーターカメラリポート



アカウミガメの卵を守ろう

こんにちは。広報サポーターの喜田恵子です。天竜川と太平洋の表浜の砂が同じだということを、皆さんはご存じでしたか?この縁で、谷ノ口地区の有志が、天竜川の流れる長野県飯田市の子どもたちと一緒に、アカウミガメの卵の保護に取り組みましたのでご紹介します。



喜田恵子

人の手による卵の保護

アカウミガメが、6月ごろから産卵のために表浜の海岸に上陸しはじめました。2010年度は、7月の時点で8頭の上陸(南町〜百々付近)が確認されています。地元の方の話によると、表浜の海岸の砂が少なくなったため、消波ブロックの端で卵を産むようになったとのことでした。消波ブロックの手前に産むと、海が荒れているとき、卵が水に漬かることがあります。1、2度だけなら平気ですが、何度も漬かると卵が死んでしまいます。今回見つけた産卵場所は、消波ブロックが邪魔をしていました。本来は、卵を掘り起こさずに自然に任せたいのですが、やむを得ず人の手で移動させることにしました。



● みんなで卵を掘り出しました

● 100個ほどありました

● まだ卵は柔らかかったです



● ビーチクリーンも行いました

● 慎重に卵を取り出しました



● 卵を安全な場所に埋めました

私は、表浜付近に住んで数十年になります。アカウミガメが産卵のために上陸していることを知りませんでした。表浜には、「ほうべ」といわれる高い崖が遠州から伊良湖まで続いていて、この崖により電気の明かりが届かないので、産卵場所としていいのだとか。今の子どもたちが大人になっても、昔からの自然の営みが続いているといいですね。

60cmほど掘ると、卵が見えてきました。卵は成長し始めているため、上下左右に動かすと死んでしまうので、慎重に取り出していただきました。卵の大きさは卓球の球ぐらいで、卵の殻は産卵後しばらくの間は軟らかく、徐々に固くなっていきます。親ガメは一度に約150個の卵を産み、二頭が産卵時期に2、3度浜に上陸し産卵します。今回は100個ほどの卵が確保できました。安全な場所に深さ60cmほどの穴を掘り、卵を入れていきます。穴は、奥は広く出口はなるべく狭く掘らなくてはなりません。全ての卵を入れてから、優しくしっかりと砂をかぶせました。



天高く羽ばたかんことを!

成章高校吹奏楽部 「東海大会銀賞受賞」

成章高校吹奏楽部部員一同



● 愛知県吹奏楽コンクール県代表選考会の様子

私たち成章高校吹奏楽部は、総勢76名で活動しています。愛知県代表として、8月22日(日)に名古屋国際会議場センチュリーホールで行われた東海大会A編成部門に出場し、銀賞を受賞することができました。この夏挑んだのは、コダーイ作曲「ハンガリー民謡くじやく」による変奏曲です。この曲は木管楽器の表情豊かな音色と、金管楽器の輝かしい響きが求められる名曲です。しかし、私たちの技術が未熟で、指揮者である鈴木孝育先生の音楽的要求になかなか応えられず壁にあたることもありましたが、部員全員の「成章の音楽を届けたい!」という思いがさまざまな問題を乗り越える原動力となりました。そしてこの夏、仲間と過ごした日々は、かけがえのない「今しか拾えない石」を拾えた時間でした。地域の皆さまや応援してくださる方々のご支援のおかげで、このような結果につながりました。本当にありがとうございました。

会場では、先生と教え子の心温まる交流、厳しかった恩師の知られざる二面の発見など、回を重ねる度に新たなエピソードが生まれ、毎年心に残る展覧会になっています。また、「毎年、展覧会を楽しみにしています」「年々、先生方の作品が良くなっているね」など、励ましの言葉をいただくこともあります。

今後は30回を目指し、これからも「力量を磨くこと」「交流」を目標として、展覧会を続けていきたいと思えます。



力量を磨きたくさんの方との交流を!

田原市教職員 美術サークル展

代表 大羽清隆さん(大草小)



● 展覧会の様子

田原市にゆかりのある教職員が出品する美術サークル展も、今年で25回目。この展覧会は、ある偉大な美術教師の退職を記念し、「先生方の力量を磨くこと」と「先生と先生、先生と教え子や市民の皆さんが交流すること」を目標に始めたものです。展示する作品は、油彩画・水彩画・イラストなど多岐にわたり、個性が溢れています。出品者も図工・美術の先生だけでなく、体育や社会、国語などの先生、かつて田原市に勤めていた先生、伊良湖ゼミ(毎年夏休みに実施している図工・美術の勉強会)の指導にあたる先生も出品しています。

8月18日(水)
~22日(日)
田原文化会館
多目的ホール



▲西ノ浜の清掃活動

地域の話題

中山校区

協働によるまちづくり

夕映えの美しい西ノ浜。
海岸に沿って広がる松の緑と広大な農地。
海と大地が織りなす自然豊かな中山校区から、
「協働によるまちづくり」について、お便りが届きました。



梅 雨が明けた7月19日(月・祝)、中山校区は、隣の亀山校区と一緒に「環境ボランティアサークル亀の子隊」の『西の浜クリーンアップ活動』に参加しました。亀山校区では、自分たちの海を自分たちで守ろうと、4年前から「海の日」に合わせ、亀の子隊と一緒に清掃活動が始められており、今回、中山校区も西ノ浜がある「まち」として、初めに参加することになりました。

求められる地域活動

「心の和と輪がはぐくむぬくもり

安心わが校区」を将来像とする「中山校区まちづくり推進計画」。この

計画の策定時に行ったアンケート調

査では、「自分たちの地域をきれいにする清掃活動」や「河川美化活動」「海岸美化を図り自然と親しめる機会やレクリエーションの場を整える」などが重要とされる一方で、約35%の人が、地域活動を「特に何もしていない」と回答する結果となりました。

これらの課題を解決するためには、環境美化活動とレクリエーションを組み合わせるなどして、もっと楽しく参加できる地域活動を行うことが必要です。海岸清掃への参加も、こうした取り組みの一環です。

清掃活動から学ぶ「協働」

今回の『西の浜クリーンアップ活

動』へは、中山校区から約80人が参加し、亀山校区・亀の子隊と合わせた320人が、820kgのごみを集めました。海を渡って漂着するごみもあれば、堤防際には故意に捨てられたと思われるごみもたくさんありました。

初めての海岸清掃で、校区住民は何か感じ取ってくれたでしょうか。自然環境を守るためには、個人

力では限界があります。今回、亀の子隊と一緒に活動を行いました。市民活動団体の多くは、校区や自治会が持たない専門的な知識があり、イベントの企画・運営方法など、学ぶことが多くあります。これからも各種団体や行政、事業者と協力し、それぞれの役割を理解した上で信頼関係を築きながら、将来像の実現を目指して、協働によるまちづくりを進めていきたいと思えます。



▲松林の清掃活動



市民活動を応援するページ.....

市民活動紹介 ボランティア活動功労者表彰を受賞

市内で活動している「声の広報」「田原風保存会」の両団体が、長年のボランティア活動の功績を称えられ、愛知県からボランティア功労者表彰を受賞しました。

表彰式は8月23日(日)に愛知県庁で行われ、愛知県知事から表彰状が授与されました。

「声の広報」代表：鈴木千賀子さん

昭和60年から、仲間とグループを作り、市内の老人ホーム入所者をはじめとする視聴覚障害者のために、「広報たはら」や「議会だより」の朗読テープを作成する活動を行っています。利用者への思いが25年の活動を支えています。



▲録音の様子

「田原風保存会」代表：松井克雄さん

昭和24年の設立以来、50年の長きにわたり風文化の継承活動を行っています。昭和50年以降は、市内の小中学校や各種イベントなどに招かれ、風作り教室などに積極的に取り組んでおり、多くの市民から喜ばれています。



▲風作り教室(8月25日(日)・高松市民館)

イベント情報

市民活動ニュース

→このコーナーに掲載する情報を募集中！頁下段の連絡先まで。

日時	イベント名・内容	会場など	問い合わせ・連絡先
10/2 土 18:00～20:00	「アートが生まれる！」田島征三さんと語ろう ～アウトサイダーアートと福祉について～	渥美どろんこ村 (ファーマーズキッチン) * 2000円(食事プラン) * 500円(喫茶プラン)	NPO法人うたた ☎080-5121-0344(中根)
10/3 日 11:00～15:00	「アートが生まれる！」里山フィールドワークとアート ～生きるものすべてアートにしてみよう～	渥美どろんこ村 (どろんこ広場) * 1500円(食事代込み)	FAX 22局 0344

募集情報

チェーンソー講習会

※市民提案型委託事業の採択事業：「たはら里山の会」と協働で開催

市民の皆さんが、安全に里山保全活動を実施していただけるように、安全衛生教育実施要領に定められたチェーンソーの講習会を開催します。

- 日時/場所 11月13日(土)・14日(日) 9:00～17:00 / サンテパルクたはら 研修室 ほか
- 定員/対象者 25名(先着順) / 市内在住または在勤の方で、里山保全活動にかかわっている方または始めようとする方
- 受講料 7000円
- 申込方法 10月1日(日)～27日(日)の期間に、受講料持参のうえ直接街づくり推進課へ(土日祝日を除く8:30～17:15) ※申込後の受講料の返金はできません。
- その他 受講修了者には安全衛生教育等の修了証を交付
- 申込・問い合わせ先 街づくり推進課 ☎23局3523 FAX 23局0180 ✉machi@city.tahara.aichi.jp



田原市民活動支援センター

市民と市役所でつくるページ♥あなたのニュースも募集中!

1 NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週金・土・日曜 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

2 このページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ：☎22局 1111(内線812) ※開設時間のみ FAX 23局 0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 26
学校生活の一コマ
を紹介

今回は学校生活の中から、「祖父母学級」と「かぶとのいえ」
をご紹介します。

●学校教育課 ☎23局3679

赤羽根小学校「祖父母学級」

おじいさん、おばあさんといっしょに学ぼう！

赤羽根小学校では、6月3日(木)の学校開放日に、恒例の祖父母学級を開催しました。4時間目の授業には、多くのおじいさんやおばあさんが参観されました。各学年では、紙ずもうや百人一首、茶摘み唄、豆つかみ競争、麦の穫り入れ、お手玉づくりで、子どもたちと触れ合うほほえましい姿が見られました。

ランチルームで食べるこの日の献立は『親子煮・野菜のごま和え』でした。保健給食委員の子どもたちは「にんじんの会の方々が育てた、たまねぎ・たまご・キャベツが使われています」と食材を紹介しました。その後は、祖父母の皆さんと揃って「いただきます」。新鮮で安心・安全な食材に感謝し、みんなで食べる給食は、楽しく和やかなひとときでした。

午後は、体育館で縦割り班ごとに集まり、食に関するDVDを視聴しました。保健給食委員会の進行で「野菜・くだものビンゴゲーム」も行い、食育への取り組みを地域へ発信するよい機会となりました。

※にんじんの会…地元の農家で組織された市民グループ



●5年生が祖父母と麦の穫り入れを行いました



●「野菜・くだものビンゴゲーム」を楽しみました

神戸小学校「かぶとのいえ」

「魅力ある学校づくり事業」カブトムシを育てよう!



●この中でたくさんのカブトムシを育てています



●立派なカブトムシに育てることができました

神戸小学校では、学校に隣接する森林「神戸っ子の森」で、子どもたちが自然に親しむ環境づくりを、少しずつ進めてきました。昨年の7月には、市内小中学校独自の活動を支援する「魅力ある学校づくり事業」で、新たに「かぶとのいえ」が誕生し、子どもたちが一生懸命にカブトムシの世話をしてきました。ところが、昨年10月の台風18号により、この森も大きな被害を受け心配していました。

春になり、みんなでドキドキしながら腐葉土を掘り返してみると、カブトムシの幼虫がころころと出てきました。子どもたちは、手のひらに乗せ大きさを比べたり、観察したりして楽しい時間を過ごしました。梅雨に入ると、幼虫は一切見られなくなりました。しかし7月初め、1年生から「カブトムシを発見!」の一報が入りました。暑さが増すにつれ、カブトムシは次々に姿を現し、子どもたちを驚かせています。少し小ぶりですが、黒光りした立派なカブトムシです。「かぶとのいえ」を通して、子どもたちが自然や生き物にっそう目を向けてくれることを願っています。



▲可搬ポンプによる消火訓練を行う豊島・川岸・漆田三区自主防災会の皆さん



▲「立てた!」と笑顔から感動が伝わってきます(親子サーフィン体験教室)



▲日差しは強くても、池の周りはさわやかな風が吹き抜けました

8月28日(土)
訓練重ねて
みんなで減災

総合防災訓練が神戸運動公園で実施され、22の関係団体や市民など約1000名が参加しました。防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、自主防災会や消防署、警察、自衛隊との連携による訓練など29種類の訓練が実践的に行われました。

8月28日(土)
全身で感じた
波乗りの魅力

サーフィンフェスティバルin田原が8月28日(土)・29日(日)の2日間、赤羽根大石海岸で開催されました。昨年のロングボード世界チャンピオンのデモンストレーションや親子サーフィン体験教室などで盛り上がったほか、来場者によるビーチクリーンも行われました。

8月29日(日)
自然を感じて
ゆったり歩く

ふれあいウォーキングが初立池周辺で開催され、家族やグループなど約120名が参加しました。池周辺の景色を眺めながら約3kmのコースを歩いた参加者は、途中に用意されたゲームに挑戦するなど、夏休み最後の週末を楽しんでいる様子でした。



募集

WANTED

田原市臨時職員(田原文化会館) 施設設備保守管理業務

- ▼募集人員 1名
- ▼採用期間 11月1日～平成23年3月31日
- ▼対象 1 ボイラー技士および危険物取扱者乙種第4類をお持ちの方で、土・日曜日、祝日も勤務が可能な方
- ▼勤務場所 田原文化会館
- ▼勤務内容 施設の設備などの保守管理・ボイラーなどの管理
- ▼勤務形態 週4日勤務/午前8時30分～午後4時30分
- ▼賃金 時給850円
- ▼選考方法 面接(詳細は後日)
- ▼申し込み 10月15日(金)までに田原文化会館

館にある履歴書に必要事項を記入のうえ直接提出

▼生涯学習課(田原文化会館)
☎22局6061 FAX22局6455

田原福祉専門学校 学生



田原福祉専門学校では、平成23年度の推薦および一般・社会人入学試験を行います。

- ▼試験種別 ①推薦・社会人入学試験、②一般・社会人入学試験
- ▼試験日 ①10月23日(土)、②11月6日(土)
- ▼出願期間 ①10月1日(金)～14日(木)、②10月12日(火)～28日(木)
- ▼試験内容 推薦は面接、一般・社会人は作文と面接
- ▼申し込み 入学検定料1万5000円を振り込みのうえ、田原福祉専門学校にある所定の出願書類に必要事項を記入し、出願期間内に提出(郵送の場合当日消印有効)
- ▼その他 入学試験は、10月から平成23年3月まで毎月実施します。詳しくは直接お問い合わせください。
- ▼田原福祉専門学校
☎22局3939 FAX22局7340

平成22年度 サテライトセミナー 受講者

あなたもこの機会に、男女の固定的な役割分担意識を解消し、男女ともに仕事と家庭



の両立ができるバランスのとれたライフスタイルを考えてみませんか。

- ▼対象 一般
- ▼日時 10月22日(金) 午後2時～4時
- ▼場所 田原文化会館多目的ホール
- ▼内容 「楽々ライフは黄金比から」～誰もが輝ける家庭と社会を目指して～
- ▼講師 林陽子氏(中部学院大学教授)
- ▼定員 50名(先着順)
- ▼受講料 無料
- ▼申し込み 電話またはFAX・Eメールはがきにて(FAX・Eメールはがきの場合は、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記/託児希望の有無・託児希望の他) 託児は10月15日(金)までに要予約/手話通訳あり
- ▼市民協働課
〒441-1349 住所不要
☎23局3504 FAX23局0180
✉kyoudou@city.tahara.aich.jp

法務局市民講座 受講者

- ▼内容/日時 ①遺言/10月13日(水) 午後2時～4時 ②相続/10月14日(木) 午前10時～正午 ③成年後見制度/10月14日(木) 午後2時～4時
- ▼場所 豊橋地方合同庁舎6階会議室
- ▼定員 各60名(先着順)
- ▼受講料 無料
- ▼申し込み 直接または電話にて
- ▼名古屋法務局豊橋支局総務課(豊橋地方合同庁舎)
☎(0532)54局9278

安全で快適なカーライフのために マイカー点検教室 参加者

- ▼日時 10月29日(金) 午後1時～3時
- ▼場所 道の駅田原めつくんはうす
- ▼内容 定期点検についての講話や点検などの実習
- ▼定員 200名(先着順)
- ▼参加料 無料
- ▼申し込み 電話またはFAXにて(FAXの場合は地区名・氏名を明記)
- ▼その他 動きやすい服装でお越しください。参加者には、マイカーハンドブックや粗品などを差し上げます。
- ▼渥美自動車組合
☎22局0746 FAX22局4823

**国際協力機構 JICA
ボランティア「体験談&説明会」**

JICAでは、世界の開発途上国で現地の人々と同じ生活をしながら、ともに働き、国づくりに貢献するボランティアを募集しています。

市では、愛・地球博の縁で、ラオスでバラ栽培の実現を目指す農業支援プロジェクトを実施しています。JICAボランティアとして、現地でバラ栽培の指導ができる方がいれば、さらに効果的な農業支援ができます。



- ▼対象 20～39歳の方（青年海外協力隊）、40～69歳の方（シニア海外ボランティア） ▼日時 10月26日（火）午後6時30分～ ▼場所 豊橋市国際交流協会（豊橋市駅前大通）
- ▼参加料 無料 ▼申し込み 不要（当日、会場へ直接お越しください）
- ※詳しくは、お問い合わせください。
- ▼（社）青年海外協力協会中部支部
☎（052）459局7229
FAX（052）459局7225

**統合失調症患者の
家族教室を開催します**

- ▼対象 20～30歳代の統合失調症患者の家族など
- ▼日時／内容 ①10

月21日（木）午後1時30分～3時30分／講話「統合失調症への理解」、講師・蜷川直隆氏（豊川市民病院精神科医師）②10月28日（木）午後2時～3時30分／体験談「日常生活を安定させるために心がけていること」

- ▼場所 ①豊川市総合体育館②ウィズ豊川 ▼定員 30名（先着順）
- ▼参加料 無料 ▼申し込み 電話またはFAXにて（FAXの場合は、住所・氏名・年齢・電話番号を明記）
- ▼豊川保健所健康支援課
☎（0533）86局3626
FAX（0533）89局6758

生活 LIFE

**火災発生時の
「鎮火放送」を変更します**

10月1日（金）から、火災の鎮火放送を火災発生場所の属する地域（旧田原町、旧赤羽根町、旧渥美町の単位）のみの放送とします。なお、火災発生放送と安心安全ほっとメールは、全ての地域に放送・送信しますので、ご理解とご協力をお願いします。

- ▼消防署
☎23局4075 FAX23局2440

第20回福寿園文化祭

- ▼日時 10月9日（土）午前10時30分～
- ▼場所 福寿園（田原市六連町）
- ▼内容 餅投げ、クラブ発表、バザー、新沼謙治特別ショー（午後2時～）など
- ▼福寿園 ☎27局0008

**国民年金保険料は
前納がお得です！**

国民年金保険料を納付書で納める場合、翌年3月分までの保険料をま

国民年金保険料

納付期間	納付額	前納額	割引額	納付期限
10～3月分	90,600円	89,860円	740円	11/1(月)
11～3月分	75,500円	75,010円	490円	11/30(火)
12～3月分	60,400円	60,110円	290円	H23/1/4(火)
1～3月分	45,300円	45,150円	150円	H23/1/31(月)
2～3月分	30,200円	30,150円	50円	H23/2/28(月)

たとえば、10月分から翌年3月分までの国民年金保険料を、11月1日までの納付期限内に納付すると、740円の割引になります。



縦覧

都市再生整備計画事業（赤羽根地区）の事後評価原案を公表します

平成18～22年度に行った整備について、事後評価を実施しています。ご意見のある方は、公表期間中に意見を提出することができます。

- ▼公表期間 10月15日（金）～28日（木）午前8時30分～午後5時（土・日曜日を除く）
- ▼公表場所 土木課／市ホームページでも閲覧可
- ▼土木課
☎23局3521 FAX22局3811
http://www.city.tahara.aichi.jp/

- ▼豊橋年金事務所 国民年金課
☎（0532）33局4118
FAX（0532）33局3411
- ▼保険年金課
☎23局2149 FAX23局0180

とめて払うと割引になる「前納制度」があります。毎月納めるよりもお得で、納め忘れも防ぐことができます。この制度を、ぜひご利用ください。なお、前納用の納付書が必要になりますので、事前に豊橋年金事務所までお申し出ください。

広がる未来へ

●田原市レンタサイクル

市では、市民のみなさんが快適に暮らすことのできる環境負荷の少ない省エネ型のまちづくり「コンパクトシティプロジェクト」に取り組んでいます。その中の一つに、**田原市レンタサイクル**があります。自動車を使わず自転車を利用することで、CO₂（二酸化炭素）排出量を減らすことができます。環境負荷を減らし、地球温暖化を防止するためにも、レンタサイクルをぜひご利用ください。



- 利用方法**
- 【貸出手続】受付名簿に必要事項を記入のうえ、身分証を提示し、自転車を借ります。
- 【貸出場所】三河田原駅・セントファール・田原文化会館・田原市役所・田原福祉センター
- 【利用時間】貸出／午前9時～午後5時 返却／午後7時まで
- 【利用料金】無料

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人937人・事業所55か所（8月末現在）

53 *たはらエコ・ガーデンシティ構想

●地球温暖化防止啓発ポスター入選作品

●小学校高学年の部

伊藤菜奈さん（若戸小学校）



●小学校高学年の部

河合静香さん（若戸小学校）



●中学校の部

辻裕貴さん（赤羽根中学校）



※平成22年3月現在の学校名です

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180



省資源のリサイクル

手軽に持ち運べて便利なペットボトル。加工しやすいプラスチックからできているため、さまざまな商品などにリサイクルされています。

何にリサイクルされるの？



回収したペットボトルは、細かく砕き「フレーク」という原料にして、さまざまな製品にリサイクルされています。また、ほかにも化学的に分解して「PET原料」にしてから、再びペットボトルを作る方法もあります。

●主なリサイクル商品

- 文房具
- 制服や作業服などの繊維製品
- 卵パック
- 洗剤ボトル

ペットボトルを再利用した製品には「ペットボトルリサイクル推奨マーク」が付いています。



ペットボトルの出し方は？



ペットボトルには、ペットボトルマークが付いています。



- ① ふたを取る。
- ※ふたは、「プラスチック容器類」で出す。
- ② 中の異物を取り除き、水洗いして乾かす。
- ③ つぶして、回収に出す。

※ペットボトルマークの付いていないもの、プラマークの付いていないものは、「プラスチック容器類」で出しましょう。



▼清掃管理課

☎23局655008

FAX23局0180



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

29

交流通信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶ 広報秘書課 ☎ 22局0138

田原市の農業を学ぶ JICA研修生が田原市を訪問

田原市が行っている独立行政法人国際協力機構(JICA)の研修生の受け入れについてご紹介します。

●研修の目的

この研修は、開発途上国の研修生が母国のかんがい排水基盤の整備や農村開発のための基礎・応用技術を習得することを目的に行われています。田原市の農業は、豊川用水の通水により飛躍的に発展を遂げたことから、研修で学ぶ良い事例となっています。田原市では、この研修を昭和63年から毎年受け入れ、昨年度までに54か国・268名の研修生が来訪しています。

●平成22年度の研修の様子



▲ 稲作と豊川用水の現地視察

7月28日(水)から3日間、JICAの「かんがい排水・農村開発」コースの研修生が田原市を訪問し、豊川用水と田原市の農業について学びました。アフリカ



▲ 高松揚水機場の見学



▲ 園芸施設の見学

やアジアの10か国・10名の研修生は、農協の施設や豊川用水の揚水機場、初立池などを視察したり、水田や菊の温室を見学しながら農家の方の話を聞いたりしました。また、研

修期間中は、ホームステイを通じて市民との交流を深めました。

田原市での研修を、母国の発展と友好に役立てたいです。



スイザーさん (モザンビーク)

うという方は少ない状況です。

◆**簡易耐震対策助成事業とは?**

田原市無料耐震診断で『安全でない』と診断され、「補強工事はできないけど何か対策を行いたい」という方に助成を行う事業です。大規模地震災害時に被害に遭う確率が高い高齢者や障がい者の世帯の安全性を確保するため実施しています。

◆**住宅の耐震化の状況は?**

市では、昭和56年5月31日以前に新築された2階建て以下の木造住宅を対象に、無料の耐震診断を実施しています。地震に対して『安全でない』と診断された場合、補強計画(設計)の費用や補強工事にかかる費用の助成も行っています。しかし、実際に補強工事を行うという方は少ない状況です。

ご紹介いたします。

◆**対象世帯**

次の要件をいずれも満たす世帯

- ・ 高齢者(65歳以上) または障がい者などの地震災害時に援護を必要とする方だけで構成される世帯
- ・ 田原市の耐震診断で『安全でない』と診断された住宅に居住している世帯

かんちゃん

防災まめ知識

64



地震に備えよう! 簡易耐震対策助成事業

忍びよる巨大地震

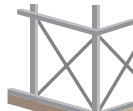
●**助成金額**

実費(限度額30万円)

●**問い合わせ**

建築課 ☎ 23局3526

▼ 防災対策課 ☎ 23局3548



●対象世帯

◆**対象工事**

- ・ 筋交や耐力壁など構造軸組の簡易耐震補強
- ・ 防災ベッドなど安全な居室づくり
- ・ 屋根の軽量化など耐震上有効な工事
- ・ その他、地震災害軽減に有効なもの

歴史探訪

クラブ! 其の114

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

伊良湖に伝わる郷土料理

近ごろ、季節の食材をはじめ、地域特有の郷土料理に興味があります。しかし、「渥美半島の郷土料理は」と尋ねられたときに、私も含めて答えられる人は少ないのではないのでしょうか。

伊良湖自治会が発刊した『伊良湖誌』には、郷土の食材と伊良湖に伝わる郷土料理が紹介されています。「伊良湖のそば」「あらめと地豆の煮物」「じょじょ切り」「はちはい」「おにまんじゅう」「や



▲じょじょ切り

かなめし」「わかめの芽かぶ汁」「にしの酢みそあえ」「おおつもごのごつおう」「このしろのおから漬け」「ぼたもち」「ところてん」。全国的に見られる料理もありますが、伊良湖の人が昔から親しんだ素朴な料理の記録として貴重です。

その中で、気になった料理がありました。「じょじょ切り」と呼ばれる、小麦粉を練ってうどんの倍くらい太さにしたものを入れ、汁粉にしたものです。小麦粉を溶かし玉にしたものを、直接鍋に落とした汁粉は食べたことがあります、このように、

丁寧調理した食べ方が地元にあったとは知りませんでした。初めて食べたときは、絶妙な太さの食感、素朴な甘さなどに感激しました。

たまたま、民俗学者の柳田国男の文章を読んでいたら、麺類の起源を説明した「ほうとう」のところに、「あずきほうとう」の説明文に添えて「三河の渥美半島では三十年餘り以前、私も是をドヂョウ汁と謂って食わされて喫驚した」と記されていました。これが「じょじょ切り」なのです。柳田（当時は松岡姓）は明治31年に伊良湖を訪れているので、当時から定着していた料理といえます。現在では「じょじょ切り」、明治時代には「どじょう汁」。なんとなく似ているようですが、その名前の由来は関係あるのでしょうか。

戦前の食事は、ご飯に味噌汁、漬物、煮つけで、祝いごとに餅があった程度です。柳田の食べた「どじょう汁」はもてなしの料理としてふるまわれたのでしょうか。

「じょじょ切り」は、高価なもちの代用品として考えられたようですが、渥美半島オリジナルの料理とはいえません。しかし、100年以上も親

しまれた歴史を考えると、郷土料理といっても差し支えないでしょう。

近年、衣食住は急速に全国で均一化しつつあります。快適で便利かもしれないませんが、これまで地域の先人の方々が、永い時間をかけて培った知恵や技術が失われることにつながります。違いにこそ良さがあるので。もちろん、地域の食材を使った料理も文化もその一つです。「じょじょ切り」は、庶民の暮らしの知恵と人に対する思いやりがいっぱい詰まった、最高のスイーツといえます。いつまでも伝えたいものです。

(増山)

※『伊良湖誌』は、市内各図書館でご覧いただけます。レシピも記されていますので、これらの料理にぜひ挑戦してみてください。

今月の「表紙」

大きく実った神戸保育園のジャンボカボチャ。

田原市4日クラブ連絡協議会主催のコンテストに出品し、見事に「最優秀賞」を受賞しました。園児たちが草取りをしたり、水をかけたり、手塩にかけて育てたカボチャ。その重さ53kgの中には、みんなの愛情がたくさんつまっているんだね! (O)

【表紙の写真】ジャンボカボチャ(神戸保育園)